

【懲戒解雇の記載例】

〇〇年〇〇月〇〇日

山梨県労働委員会
会長 〇〇 〇〇 様

申請者 〇〇 〇〇
※個人の場合は、署名又は記名押印
※法人の場合は、法人の名称及び代表者の職・氏名を
署名又は記名押印

あ っ せ ん 申 請 書

次のとおり個別的労使紛争に係るあっせんで申請します。

労働者	住 所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号	電話番号	000-000-0000 ※常に連絡のとれる電話番号
	氏 名	〇〇 〇〇	雇用形態	正社員(アルバイト、パート等)
使用者	事業所の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※労働者が働いている(いた)事業所の所在地	事業所名	〇〇株式会社〇〇支店 (支店長〇〇 〇〇) (電話〇〇部〇〇課〇〇係 000-000-0000)
	本社等の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※本社等の所在地	本社等の名称	〇〇株式会社〇〇本社 (電話000-000-0000) ※本社等の名称
	代表者の職・氏名	代表取締役〇〇 〇〇 ※社長など代表者の職・氏名	事業の種類	サービス業 ※業種
あっせん事項		懲戒解雇撤回と職場復帰を求める。 また、精神的苦痛に対する慰謝料〇万円の支払を求める。		
当事者の主張	労働者	私は責任者として、清掃メンバーの指導をしっかりとしており、懲戒解雇になる理由はない。		
	使用者	責任者としての職責を果たさず、会社に損害を与えた行為は、懲戒解雇に値する。		
申請に至るまでの経過		〇年〇月〇日 A社B支店に清掃員として雇われた。 5人チームの責任者としてA社の請負先であるC株式会社の清掃を行っていた。 〇年〇月〇日 C株式会社から、清掃の仕方が悪いとA社にクレームが入った。 同年〇月〇日 C株式会社から再度クレームが入り、請負契約が切れた。 同年〇月〇日 B支店長から「これは、お前がきちんと指導しなかったせいだ。 懲戒解雇だ」と言われ解雇された。 同年〇月〇日 本社の人事課長に連絡をとり、解雇を撤回してくれるよう要請したが、聞き入れてもらえなかった。		
参考事項		同年〇月〇日 山梨県中小企業労働相談所の相談を受けた。 労働契約書(有・無) 就業規則(有・無) 労働組合(有・無) 就業開始日 〇〇年〇〇月〇〇日(勤続年数〇年) 対応者 〇〇本社 人事課長 〇〇 〇〇		